平成 31年１月31日

研修報告書

氏名：稲田　麻里

所属：ちば県民保健予防財団

研修期間：平成　30 年　　4月　　1日　～　平成　　31年　　1月　　31日

研修場所：千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部

受講動機：

千葉大学附属病院における遺伝カウンセリング体制及び症例の理解を深めるとともに、地域遺伝医療連携体制の構築を検討するため。

研修内容：

・月一回　木曜日　千葉大学遺伝子診療部カンファレンスへの参加

・平成３０年４月１０日　第１回千葉県リンチ症候群対策協議会　参加

　セミナー内容

-千葉大学におけるLynch症候群へのアプローチ

-遺伝性大腸癌の最近の話題

・平成３０年１２月１１日　第２回千葉県リンチ症候群対策協議会　参加

 セミナー内容

-リンチ症候群診療の現状と課題

-遺伝子検査から診断へ：現在の課題

-公益財団法人ちば県民保健予防財団における遺伝子診療

研修成果：

・自施設では経験のできない複数の遺伝性疾患に関する症例検討に参加させていただき、病態の理解、遺伝カウンセリングに関わる様々な配慮への理解を深めることができました。

・多臓器・多科の関連するリンチ症候群などを通して、単一科での管理の難しさ、遺伝性腫瘍として包括的に管理できる体制の整備が求められている現状を認識いたしました。

自施設も含め、千葉県での地域遺伝医療連携体制の医療実装（特に発端者や未発症の病的遺伝子保有者のスクリーニング）を行って参りたいと考えております。